



# 加藤内科広報新聞 10月号



高齢者（65歳以上）に加え  
一般の方（65歳以下）のインフルエンザ予防接種も開始いたします

予約制ではありません。ワクチンがなくなり次第終了となります。

当院受付にて問診票と説明書を配布しておりますので、接種希望の方は1度取りに来ていただき、問診票をご記入の上、接種にお越しく下さい。

加藤内科のホームページにて問診票を印刷することも可能です。

10月1日より医薬品に自己負担が加わる制度ができました

後発医薬品（ジェネリック医薬品）があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、「特別な料金」を支払わないといけません。（院内処方の患者様は対象外です）

その前に…先発医薬品って？後発医薬品って？

## ●先発医薬品とは？

新たに開発された医薬品のことです。

9～17年程度の長い期間と数百億円もの莫大な費用をかけて研究し、

「治験」を経て有効性や安全性が確認された後に、国の承認を受けて発売されます。

原材料や製造費に加え、研究費や特許料など様々な費用が上乗せされるため、

先発医薬品は比較的高額になる傾向があります。



## ●後発医薬品とは？

先発医薬品の後に販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ医薬品のことです。

先発医薬品に比べると承認を得るために必要な試験の数も少なく、臨床試験の代わりに生物学的同等性試験のデータを用いることが可能です。

研究開発に要する費用が低く抑えられることから、金額も安く設定されています。

ただし、全く同じお薬というわけではないので、稀に効果や副作用など違いが生じる場合もあります。

## なぜ「特別な料金」を支払う制度ができたのか？

保険料や税金でまかなえる医療保険の負担を公平にし、国民皆保険を守っていくため、国は価格の安い後発医薬品への置き換えをすすめています。  
そのため、より価格の高い一部の先発医薬品を希望される場合は、「特別な料金」として患者様に負担をお願いすることになりました。

## どのくらいの金額を支払わないといけないのか？

先発医薬品と後発医薬品の価格差の4分の1相当の料金のことを「特別な料金」と言います。  
例えば、先発医薬品の価格が1錠100円、後発医薬品の価格が1錠60円の場合、差額40円の4分の1である10円を、通常の1～3割の患者負担とは別に特別な料金として追加でお支払いいただきます。

### 注 意

「特別な料金」は課税対象であるため、消費税を加えてお支払いになります。  
端数処理の関係などで4分の1ちょうどにならない場合もあります。  
後発医薬品が多数ある場合は、薬価が1番高い後発医薬品との価格差で計算します。  
生活保護受給者の方は対象外です。  
医療症をお持ちの方（1回の自己負担が500円の方など）も、別途負担になります。

後発医薬品は、“値段は安いけど信頼性も効果も低い薬”など、負のイメージを持っている方がいらっしゃるかと思います。  
ですが、きちんと研究をし、販売してよいとなったお薬です。  
決して効果が低いわけではありません。

（効き方に個人差がある場合もあります。その場合は医師にご相談ください。）



「この機会に後発医薬品の積極的な利用をお願いいたします」と国からの依頼がありました。

当院においても後発医薬品の処方を推進していますので、ご協力よろしくをお願いいたします。